

15番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. これからの公用車(緊急自動車等)の考え方について</p> <p>【質問趣旨】 9月9日は救急の日。本市の救急出動件数は、昨年過去最高の6216件を記録。現在、既に昨年を上回る勢いと聞く。救急搬送が迅速にできない場合の対応として、近隣市との消防相互応援協定があり相互に対応している。一方で、緊急自動車(救急車)の適時・適切な利用ができるような情報発信も重要である。 消防庁告示「消防力の整備指針(救急自動車)第13条」を基に「令和5年版消防年報」で整備指針と現保有台数等が示されている。 → 次ページに続く</p>	<p>(1) 緊急自動車(救急車)の出動状況の現状と課題について</p> <p>(2) 緊急自動車(救急車)の適時・適切な利用のための情報発信について</p>	<p>① 今年度の緊急自動車(救急車)の救急出動件数の速報値の状況を伺う。</p> <p>② 近隣市との消防相互応援協定による対応の状況について現状と課題を伺う。</p> <p>③ 今後の出動件数の年代別の推移をどのように予測しているのか伺う。</p> <p>① 患者等搬送事業者の認定制度や高齢者救急協力施設認定制度の周知は十分と考えていいのか。現状と課題を伺う。</p> <p>② 愛知県救急医療情報センターへの相談の促進、全国版救急受診アプリ「Q助」の導入等、こうした情報発信により、適切な利用の判断に、どの程度の反映がされていると考えるのか。見解を伺う。</p> <p>③ 厚生労働省では、子どもの急な病気に困ったら「#8000」こども医療でんわ相談(小児救急電話相談)がある。全国同一の短縮ダイヤルとわかりやすい。こうした情報発信はされているのか。</p> <p>④ 総務省消防庁では、救急車の適時・適切な利用のための「#7119」(救急安心センター事業)の全国普及を進めている。愛知県が実施主体であるが導入はされていない。県への働きかけも必要と考えるが、見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>本市の特徴として、住宅密集地域が多く、狭あいな道路が分布しており、2018年、総務省の住宅・土地統計調査の結果、狭あいな道路(4.5m)に敷地が接している住宅数の割合は約3割となっている。地図情報だけではわかりづらい、急な坂やUターンできない行き止まりも多く、国や県から移管された舗装されていない赤道等もある。災害時の対応等、救急業務が迅速かつ安全に対応できる準備が重要であるとする。本市の特徴に対応できる「軽救急車」等の導入を提案したい。</p> <p>他にも、公用車(緊急自動車含む)寄付等の情報発信等、順次質問する。</p> <p>→ 次ページに続く</p>	<p>(3) 緊急自動車(救急車)の保有台数について</p> <p>(4) 公用車(緊急自動車含む)の耐用年数・オークション等の考え方について</p>	<p>① 令和5年版消防年報に示されている、消防力の整備指針と現有消防力では、救急車の整備指針は6台。保有台数(現有数)は5台となっている。現在の配備状況と充足率が100パーセントにできていない理由を伺う。</p> <p>② 10年間の救急出動件数では急病救急出動件数が急増している。1日あたりの出動件数や稼働率、高齢化の状況等を鑑み、保有台数(現有数)のまま出動要請に対応できるのか。どのような認識か。見解を伺う。</p> <p>③ 保有台数(現有数)を6台にするメリット・デメリットとして、どのような事が考えられるのか。見解を伺う。</p> <p>① 本市は救急車の耐用年数を10年としている。自治体により考え方は様々である。本市の耐用年数の考え方を伺う。</p> <p>② 救急車は一般車両に比べて、走行距離が少なく、状態の良好な自動車が多い。一定の条件を満たせば、発展途上国へ寄贈できる。これまでの取り組み状況を伺う。</p> <p>③ KSI官公庁オークション等を利用して、公用車等の売却を行う自治体もある。将来的には有効な手段の一つであるとする。どのような認識か。見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>* 緊急自動車とは:人命救助や火災対応等、急を要する業務に利用される自動車等。</p>	<p>(5) 救急車が通行できない狭あいな道路に面した世帯への対応について</p> <p>(6) 軽救急車の導入について</p> <p>(7) 公用車 (緊急自動車含む) の寄付等の情報発信について</p>	<p>① 救急車が通行できない4メートル未満の狭あいな道路等、出動前の見極めも重要と考える。どのような認識か。また、どのような方法で掌握し準備しているのか伺う。</p> <p>② 救急車が通行できない狭あいな道路に面した世帯への対応について、救急出動の現状と課題を伺う。</p> <p>① 10年間の救急出動件数からわかるとおり、災害時の救急出動は未知数である。本市の特徴を考えれば、狭あいな道路の対応策こそ重要な視点であると考え。小回りの利く軽規格の緊急車両の必要性をどう認識しているのか見解を伺う。</p> <p>② 軽救急車を導入した市町村では、狭あいな道路も通行可能となり、搬送時間が短縮し、傷病者の容体悪化防止等に効果を発揮し、救命率がアップしている。整備指針で示された残り1台は、軽救急車の導入で充足率100パーセントに期待したい。軽救急車等の導入のメリット・デメリットをどのように捉えているのか。見解を伺う。</p> <p>① 定期的な増強・更新は図られていても配備率100パーセントに満たない等の課題が全国的にもある。個人や団体で、救急現場に貢献する緊急自動車を寄贈することができる。個人や団体等からの公用車 (緊急自動車を含む) 寄贈の状況とその対応について伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>② 寄贈できることを知らない市民や団体等が多い。全国での広がりも地域格差が大きい。他市の事例では、寄贈者のご希望により、救急自動車等の本体に寄贈者のお名前やニックネーム等を記載でき「〇〇号」と命名することができ寄贈式も開催している。こうした情報発信等を進めてはどうか。見解を伺う。</p>

- 備考
1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。